

過酸化水素分解剤 CPR-110

CPR-110は、使用された化学研磨液の過酸化水素を速やかにかつ安全に分解処理することができます。さらに、通常の還元剤処理と比較して、使用量が大幅に少ないため、低コストで処理できます。

特徴

酸性廃液のまま過酸化水素を分解できるため、中和による熱がなく安全に処理が可能。

従来の還元剤処理に比べ、**添加量が大幅に少ない。**

添加の際、発熱、臭気が無いので、**安全でかつ環境面に優れている。**

従来の還元剤処理に比べ、**処理コストが抑えられる。**

廃液中の**残留過酸化水素を分解**するため、中和工程でのフロック浮遊が生じない。

用途

- ・化学研磨廃液の過酸化水素分解剤として
- ・過酸化水素・硫酸系ソフトエッチング廃液の過酸化水成分の処理

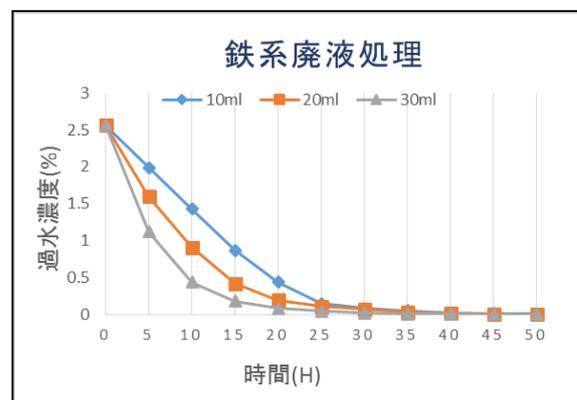
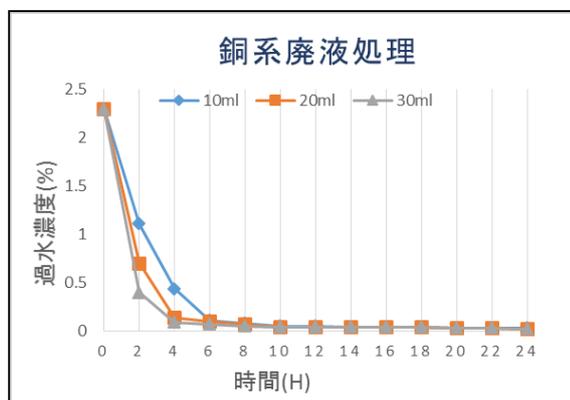


図1・2：各添加量における経過時間と過酸化水素濃度の関係

性状	
主成分	硫酸塩
外観	青色液体
比重	1.07 (20℃)
荷姿	20kgsPC缶

使用方法

廃液処理の一例

- ・ 化学研磨廃液を分解・処理槽（SUS304など）に移送
- ・ 廃液 1 Lに対して「CPR-110」を 10～20 mL添加する
- ・ 10～20分攪後、攪拌を停止してしばらく放置する
- ・ 過酸化水素が分解したことを確認して、廃液を中和槽に送る。
- ・ NaOHまたはCa(OH)₂によりpH 8～9に調整
- ・ 一般排水と併せ、高分子凝集剤をゆっくり攪拌しながら添加。
- ・ シックナーあるいはクラリファイヤーにてスラッジと上澄み液を分離する
- ・ スラッジはフィルタープレスに、上澄み液はフィルターまたはろ過機にかける
- ・ 最終調整槽にてpH調整し放流

ご使用上の注意点

高濃度過酸化水素廃液処理時は過酸化水素の異常分解（発泡・発熱）にご注意ください。

過酸化水素が微量残留(0.01%程度)する場合は、還元剤で分解してください。

お取り扱い上の注意

- ・ 作業時は手袋・保護メガネを着用の上ご使用ください。
- ・ CPR-110は 毒物及び劇物取締法に非該当です。
- ・ 保管時には容器のフタを必ず閉めてください。
- ・ 保管時は直射日光の当たらない冷暗所に保管ください。
- ・ ご使用前には必ずSDSと使用方法説明をご参照ください。

販売店

販売元



菱江化学株式会社

RYOKO CHEMICAL COMPANY, LTD.

本社 東京都中央区日本橋本町4丁目12番20号 PMO日本橋本町

Tel 03-6861-0057 (表面処理営業部)

大阪支店 Tel 06-6202-6531

福岡支店 Tel 092-473-7780

名古屋支店 Tel 052-571-5421

仙台営業所 Tel 022-225-1577